

会 議 錄

会議の名称	令和6年度第1回ふるさとづくり事業審査委員会	
開催日時	令和6年12月17日(火) 開会:午前9時30分 閉会:午前11時45分	
開催場所	行田市商工センター 403研修室	
出席者(委員) 氏名	横田英利委員、横山晋一委員、岡田則之委員、松本博之委員 朝見康夫委員、小森百合委員、岡登圭太委員、小倉健委員 鈴木紀三雄委員	
欠席者(委員) 氏名	栗原光夫委員	
事務局	企画政策課:川上課長、横倉主幹、西尾主査、深谷主事	
会議内容	第1部 公開型提案会 第2部 現地確認 第3部 提案事業審査	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・審査委員会 会議の進行について(資料1) ・行田市ふるさとづくり事業の審査について(資料2) ・行田市ふるさとづくり事業評価シート(資料3) ・提案事業の概要(資料4) ・見積比較表(参考資料) ・行田市ふるさとづくり事業審査委員会 委員名簿(参考資料) ・行田市ふるさとづくり事業補助金交付要綱(参考資料) 	
その他必要事項	傍聴者1名	
会議録の確定	確定年月日	主宰者氏名
	令和7年1月16日	横田 英利

発言者	会議の経過(議題・発言内容・結論等)
司会	1 開会
委員長	2 あいさつ
事務局	3 議事 【第1部 公開型提案会】 (1)進行の説明
提案者	(2)提案者によるプレゼンテーション 〈資料1～5及び参考資料に基づき説明〉 (3)質疑応答 ・ただいまのプレゼンテーションの内容について、ご意見やご質問があればお願いする。
小森委員	・会議の事前に配布のあったプレゼンテーションの提案資料の中に建物2階ではヨガ教室を開設するとの記載があったが、2階は使用しないと説明があり、その点について説明をお願いする。
提案者	・以前は建物2階をヨガ教室で使用する計画があったが、10月に建築基準法の改正があり、そのままの計画で進めると建築確認申請を要することなるため2階を使用しない計画へと変更した。 ・手元にある資料では計画を変更する前の内容が記載されているが、現在2階は使用しない計画となっている。
小森委員	・恒久的に2階は使用しないということでよろしいか。
提案者	・その認識で構わない。
小森委員	・それにしては、見積書の内容を見ると2階に28mmの床材を敷くとか、壁を

	<p>クロス張りシートにする等、2階が立派に改修されるような計画となつてゐるがその点についてはどうか。</p>
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・小川源右衛門蔵は大谷石で建設されており、1階と2階の状態になつてゐる。建物の安全性を保つために、現在の建築宅と同じように2階に28mm荒床を張る予定であるが、あくまで安全性を保つために張るもので仕上げの床材というものではない。 ・また、マイクロブルワリーは保健所の許可の関係で天井を張らなければならず、小屋裏をそのままにしておくというわけにいかないことから、2階の屋根を木造の柱で支えて安全性を確保し、なおかつ中間である2階床の安全性確保と天井を張るために残してある梁を利用して構造的な強度を保つという状態で考えている。 ・つまり、小屋裏になる部分というのは解体したままで、ただ補強のための柱が立っているということになる。
小森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ここまで指摘する必要はないかと思うが、見積書を見ると2階は利用しないのに改修されるような内容になつてゐることに事前資料で気が付いたということで質問させていただいた。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案だが、先ほど小森委員から質問のあった件というのは見積書等で総額が出ているが、意見の趣旨を踏まえて、補助対象経費か否かを事務局の方で一旦精査した上で3分の2を決定するというような段取りで進めるのはどうか。
小森委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それで問題ない。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今の議論を聞いていて、小森委員の言われたことは俯瞰してみると的が外れている気がする。 ・小川源右衛門蔵のような歴史ある建築物を活用する重要性は何かという部分の話になるが、例えば今回の小川源右衛門蔵は大谷石の積み石

	<p>で作られた建物である。</p> <ul style="list-style-type: none"> つまり、建物の構造的に弱いということである。 今回の提案資料を拝見していると、構造補強を基本的に入れられるということである。今までのA事業は、あまり構造補強に力点を置いたものは無かったが、今回に関しては、多様な方がここに来られるということを想定されていて、構造補強がされていると見受けられる。例えば、臥梁の部分の鉄骨や、先ほど説明のあった荒床の部分である。 また、入り口を見ると吹き抜け感があることから、おそらく途中で壁を切るわけにいかないため、クロスを2階の小屋梁の下まで上げたということも、これに関しては補助の対象外とはならないと判断される。 一方で確認をさせていただきたいのが、先ほど建築基準法の改正の話をされていたが、これは4号の話か。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・はい
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・4号の話だと、小川源右衛門蔵は延べ床面積が200m²を超えないため、建築基準法に基づく確認申請の対象とはならない。 ・つまり、私から言わせていただくと2階も併せて積極活用した方が良い。 ・構造化されているので、おそらくこのまま使用すると倉庫か何かになるかと思われる。どのような使い方があるか具体的にはわからないが、建築確認の対象とはならないため建物2階も併せて積極活用されれば良い。 ・こういったことからすると、見積書の精査の必要はあるとは思うが、本提案に関しての問題点はないと思われる。
朝見委員	<ul style="list-style-type: none"> ・建築基準法に抵触しないとなると、当初計画していた建物2階でのヨガ教室やダンス教室の復活も有り得るのではないか。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の復活が可能なのであればそれが良いに越したことはない。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人の色々な集いがあることから、“ダンス教室”や“ヨガ教室”などと特定

	<p>するのではなく、多目的施設という位置づけにされるのはどうか。</p> <p>・本事業の目的というのは、おそらく行田の活性化であるため、多目的な形で集われる方に対して、一つの手法として醸造したビールを提供するなどしていくということが、こういった事業の趣旨としては合っているのではないか。</p> <p>・当初の提案では地域の活性化のためのイベントスペースということで提案されているため、ダンス教室以外の他の部分を考えておられるという認識でよろしいか。</p>
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・お見込みの通りである。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業名に1Fと記載があったが、単純に事業場所が1階という意味か。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・お見込みの通りである。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ビールを造って売られるということだが、実際の単価はどのくらいか。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・行田商工会議所と相談し、店内提供の場合は瓶ビール1本370ml680円で、業務委託販売の場合は1本390円で考えている。また、それ以外では量り売りという形も考えている。
松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体についての確認であるが、運営は一般社団や株式会社等の法人組織で運営するのではなく、個人営業となるのか。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社を作る予定である。
松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費について、今回2,000万円が補助金となり、自己資金が1,600万ということであるが、今後の事業運営で使用する設備等の中で国、県、その他の助成金や補助金を活用する計画はあるか。

提案者	<ul style="list-style-type: none"> 助成金や補助金が併用できると思っていたが、調べて活用可能なものがあれば活用したい。
岡登委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業で期待される効果として地域活性化を挙げられているが、この点についてお聞きする。 プレゼンテーションの中でも話があったが、ビール造るとやはり市外からもたくさんの人々に来ていただけるのではないかというふうに感じられるが、対外的に広報や情報発信などの考えはあるか。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> 今はSNSが強いと思っており、主にSNSを活用した広告をしていきたいと考えている。
岡登委員	<ul style="list-style-type: none"> 市内各所ではいろんなイベントをやっているが、例えばそといった所で今後キッチンカーを出店したり等、何か考えていることはあるか
提案者	<ul style="list-style-type: none"> 今後、イベント等には出店していきたいと考えている。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業の継続性について、オープンした後は夫婦で経営し、週4日お店を開けるという形であった。提案者ご本人は、現在加須麦酒にて研修されていることであるが、お店のオープン後は2人が常に常駐するという形になるのか、もしくは手の空いている方が常駐するという形になるのか、決められた時間はお店が開いているということを担保できるのかお聞きしたい。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身もその点については問題だと感じている。現在は、できるだけ手の空いている人がいて開けるのか、もしくは誰かを雇うという方向も考えている。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> 何時から何時まで空けるようにするとか、設定はしておくつもりなのか。

提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・設定はする予定である。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の想定は、現時点ではどのくらいを予定しているのか。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点の予定ではあるが、週末は13時～19時ぐらいまで、平日であれば15時～19時までと、あまり長くはやらない予定で考えている。 ・一般的なバー等とは少し違う形で、持ち帰りを可能とし、値段も普通のビールよりは高くなる。そうなるとお店に来る客層も異なってくると聞いており、それは実際自分が勤めていたとき感じたところである。 ・そのようなことから、皆様の家に持ち帰っていただいたり、近隣に迷惑がかからないような感じにはしたいと考えている。 ・八幡通りの空気というのは大事にしたいと考えている。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今この質問をしたのは、行田の街はどの店も終わるのがみんな早いからである。 ・我々のようなお酒好きな人間が行くところがなくて困っているというのが現状である。 ・そのため、毎日ではなくても何曜日と何曜日は21時までやっているとか、そういう設定も地元のために必要かと感じる。
提案者	<ul style="list-style-type: none"> ・そのあたりは、一旦設定してもお客様の要望で、フレキシブルに地域に溶け込むように変えていきたいと考えている。 ・ビールの味についても同様で、様子を見て、どんどん変えていきたいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど私の方で見積書の内容の精査についてご提案させていただいたが、補助事業の経費所要額等については、このままの状態で審査させていただくということで皆さんよろしいか。
各委員	【 異議なし 】

	<p>委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に本提案に関する、ご意見やご質問はないようなので、これをもって質疑応答を終了し、第1部を終了とさせていただく。 <p>【第2部 現地確認】</p> <p>提案者</p> <p>現地確認(説明)、質疑応答</p> <p>【第3部 提案事業審査】</p> <p>委員長</p> <p>(1)審議(審査及び意見集約)</p> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価シートの集計結果を配布・報告 <p>委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただいま、事務局から評価シートの集計結果について報告があった。 ・これより、この結果を元に当委員会としての意見集約を図ってまいりたい。 ・横山委員から順に、それぞれの所見と総合的な評価などの発言をお願いする。 <p>横山委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は、全体的に合格点だと思い、全て○を付けた。 ・おそらく、現地の改修というのは結構大変かなという面もあるが、やれるだろうという期待度を持って全部○ということにした。 ・ただ1点ほど、やはり2階を積極的に使おうということがやはり必要ではないかということで、そこは再考していただきたい。 ・特段、建築基準法には抵触しないし、多目的に使えた方が、この趣旨からもいいだろうということで、そのような提案をさせていただいた。 ・加えてもう1点、これは直接の評価に当たるかどうかは別だが、事務局の方で、プレゼンテーションのやり方を指導された方が良いかもしれない。 ・規定された時間の中で、言うべきことをちゃんと言うというのが、発表の本来の趣旨であるが、それが手慣れてないということで、本日のプレゼンテーションは自己紹介のところが半分以上になってしまっていた。 ・補助事業に評価を付けるにあたり、我々は何に審査して付けているかというと、建築のあり方や改修に対して付けています。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・今日のプレゼンでは、大切な事業の趣旨の部分がゼロであり、残念であつた。 ・プレゼンテーションは決められた時間で要点を伝えるためにどれだけポイントを絞って喋るかということが試されている。 ・つまり設計者が図面を見せて、何をどう変えるかという話を5分ぐらいして、最後の1分で、申請者が総括をするプレゼンテーションというのが一番良いのではないかと考える。 ・しかし、それは事務局の方でプレゼンテーションの形式を指導されない限りはわからないから、自己アピールで終わってしまう。 ・最近はどこの市町村もパブリックコメントをやっているが、結構厳しい指摘が寄せられており、本日のプレゼンテーションもパブリックコメントを実施した場合は厳しい意見が寄せられるものと考えられる。そういう状況であるため、事務局の方でできる限り指導をなさった方が私は良かったのではないかと考える。 ・しかし、提案者も一生懸命だったため、その姿勢は評価させていただいたというところである。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は大部分を○とさせていただいたが、「継続性」の点において△とさせていただいた。 ・私自身が商人であり、提案の中でインバウンドという言葉が聞こえたが、まず地元に愛されないと商売は長続きしない。 ・先ほどの質問の中でも、夜遅くまでやってほしいという要望を出させていただいた。 ・今の行田は本当に寂しい街になってしまったので、是非この活用事業を使って大いに地域を盛り上げていただければという期待を込め、○とさせていただいた。
松本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も大部分は○とさせていただいたが、「発展性」と「継続性」について△とさせていただいた。 ・まず「発展性」については、将来に向けて波及効果が期待できるかという

	<p>点で△とさせていただいたが、これは決してネガティブな意味ではなくて発破をかけるといった意味での△である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員の皆さんもよくご存じかと思うが、最近のまちづくりは、地域活性化事業で空き店舗、あるいは空き家を改築し、カフェを作ったり、今回のようナビアバーを作ったりというのは、やや語弊はあるが流行りである。 そのため言い方は変であるが、どんな街でもそういった事業を取り組む人たちがいるというのは、見ることができるが、現場に行ってみると孤立してしまっており、なかなか周りのお店、あるいはそういったところとの相乗効果がなかなか見えてこないという例がある。そういったところを、提案者には頑張っていただくと同時に、市の方でもいろいろ政策を練っていただければと思う。 それから「継続性」について、私が質問したところでは、提案者と奥様と2人で、合同会社を作つて空いている時間でちょっとやってみるというようなことであるが、その辺、今やっておられるダンスの方とうまく併用ができるのか、また、いわゆる株式会社にするなり、そういったもののいわゆる事業の「継続性」、流行の言葉で言うと「サステナビリティ」がちょっとやや不安だというところを思い、最後の継続性も△とさせていただいた。
岡登委員	<ul style="list-style-type: none"> 私も「継続性」のところのみ△とさせていただいた。 3年目、5年目、7年目、10年目と2年ごとに売り上げを2倍にしていくという部分で、これは凄いことだと思うが、これに対して具体的な戦略や取組みというところの言及はやや少なかったかなというところで△とさせていただいた。 ただ全体的には、ふるさとづくり事業の目的や趣旨に適った良い提案だと思ったので、今回については○とさせていただいた次第である。
朝見委員	<ul style="list-style-type: none"> 私は全ての評価項目を○とさせていただいた。 全体を見て、地域の活性化事業についての決定かどうかという判断であるが、適正ではないかと思い、全ての項目を○とさせていただいたところである。

	<p>・それと、横山委員が話されていたが、やはり2階でイベント等を実施し、ビールを飲むだけではなく、そういう部分でも輪を広げていく、そういう活動がやはり必要ではないかと考える。</p> <p>小森委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も全ての項目を○とさせていただいた。 ・徐々に八幡通りが綺麗になっており、最初こういった所を綺麗にしてもそんなに効果があるものかと思っていたが、だんだん綺麗になり、花手水で夜も人が集まっているという話も聞くため、本当に今後に期待している。 ・八幡通りには休業中のところもあるが、そういうところも今回の話を元に代を変えたり、他の人に貸したり、本人がやる気を起こしたりするようになるのではないかと期待している。 ・また、提案者の40代という年齢にも今後の活躍を期待している。 ・私もダンスをやっていることから、提案者に現在やっているダンスを続けるかという話を聞いたが、これからは少し難しくなりそうだという話をしていた。 ・事業に集中するような姿勢を感じたため、期待を込めて全部○とさせていただいた。 <p>小倉委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日初めて蔵の中を拝見させていただいたが、酒屋の倉庫で活用しているとは言え、時が止まったような施設になってしまっていた。 ・そこに別の用途で再び建物が息を吹き返す、そうすることで人が集まり、ひいては地域の活性化に繋がると、非常にいい取組みで、私個人としては応援したい気持ちである。 ・1つ「妥当性」の点で△とさせていただいたが、今回の提案では、2階は使用しないものの、一部2階の改修費用が入っており、今後こういった申請が提出された時に、それを白と判断するのか、黒と判断するのかという事務上の整理が必要かと考え、今回△とさせていただいたが、総評としては応援したい取組だという気持ちである。 <p>鈴木委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私もすべての項目で○とさせていただいた。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、この小川源右衛門家だが、近江商人である。大長寺の隣にも、かつて近江商人の大きな酒蔵があり、北埼玉の近江商人の酒屋の元締めのようなことをやっていた。小川家はそこの酒販店として独立して今の場所に店を構えたという歴史がある。 ・今から20年程前、あの建物から、資料をたくさん出してきて、全部整理して郷土博物館で保管をしている。今回の蔵は、歴史的なバックボーンが非常にはっきりしている。 ・また、行田というと足袋蔵が多いが、今回は酒屋の蔵であり、その経営の歴史もわかるということで、歴史的に見ても非常に貴重な建造物ということ、なおかつ酒屋でビールを造るということで、面白いと考え、〇とさせていただいた。 ・最後の「継続性」は、各委員の意見が出ているが確かに私もその通りだと思う。 ・本補助金は、今までNPO法人に支出していたが、今回は営利目的の事業者の最初の事例ということで、是非成功してもらいたいと思い、期待を込めて〇とさせていただいた。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・私も全ての項目に〇をつけさせていただいた。各委員におかれではござ見をいただき感謝する。 ・各委員の意見を踏まえ、委員同士で何か確認されたいことがあれば、ぜひこの場でお願いしたいと思う。
各委員	【意見無し】
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、本委員会としての意見集約に入りたいと思う。 ・本提案について、採択が適当であるとして市長へ報告することにご異議はないか。
各委員	【異議なし】

委員長	<ul style="list-style-type: none">・本提案事業について、採択が適当として私から市長へ報告をさせていただく。・以上で提案事業に関する審査を終了し、これにて議長の職を解かせいたします。・長時間にわたりご協力賜り、感謝申し上げる。
横田副市長	閉会